

# 千葉県のご供給・献血状況

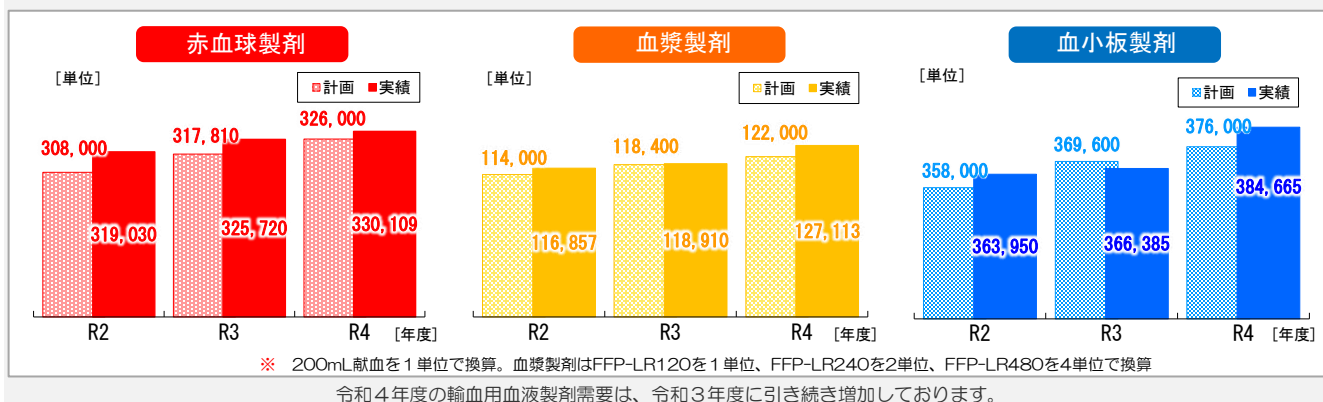
## 令和4年度の概要

千葉県内の輸血用血液製剤の需要は令和2年度から増加傾向が続いており、令和4年度は延べ**841,887単位**（対前年度比103.8%）を県内医療機関にお届けしました。

この需要に対応するため、県内6カ所の献血ルームと10台の献血バスで延べ**232,260名**（同100.8%）の皆さまに献血のご協力を頂きました。医療機関からの需要が高い400mL献血や成分献血を中心としたご協力と、献血ルーム等における予約献血の定着がより一層の安定供給につながりました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により主に移動採血バス会場で献血の中止や延期が発生しましたが、他県との調整、報道やSNSによる献血呼び掛け、メールなどの献血要請により多くのご協力を頂き、医療機関に遅滞なく血液をお届けすることができました。

年齢別の献血状況は20代～40代の各年代で減少しており、安全な血液製剤を安定的に医療機関へお届けするため、これからの献血を支える若年層の方々をはじめ、より多くの皆さまのご協力が必要とされています。

## 輸血用血液製剤供給状況（過去3年間の状況）



## 献血状況と供給状況

献血状況				供給状況			
区分	令和4年度目標数	実績数 (対計画比[%])	対前年度実績増減数	区分	令和4年度計画数	実績数 (対計画比[%])	対前年度実績増減数
400mL献血	150,913	152,416 (101.0%)	1,553	赤血球製剤(400mL献血由来)	321,300	325,092 (101.2%)	4,140
200mL献血	3,947	5,974 (151.4%)	281	赤血球製剤(200mL献血由来)	4,700	5,017 (106.7%)	249
血漿成分献血	52,611	49,402 (93.9%)	▲1,284	血漿製剤	122,000	127,113 (104.2%)	8,203
血小板成分献血	24,543	24,468 (99.7%)	1,218	血小板製剤	376,000	384,665 (102.3%)	18,280
合計	232,014	232,260 (100.1%)	1,768	合計	824,000	841,887 (102.2%)	30,872

医療機関需要の高い400mL献血および血小板成分献血に多くのご協力を頂きました。学域献血の再開に伴い、200mL献血の協力者が増加しました。

県内医療機関の需要に見合うご協力を頂きました。

なお、事前予約による献血へのご協力が輸血用血液の安定確保に大きな力となりました。

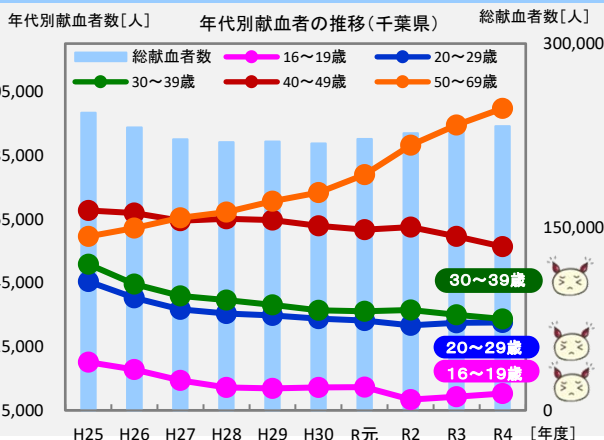
## 年代別献血状況

千葉県では、若年層（10代～30代）の献血者数が10年前に比べて34.3%減少しました。今後の献血基盤となる若年層にご協力をお願いするため、大学・専門学校・高等学校等における献血実施、献血セミナーの開催、千葉県学生献血推進協議会メンバーによる同世代への献血啓発、献血ルームにおける職場体験やキャンペーンなどを通じて、献血の普及啓発を行って参ります。

### 若年層（10代～30代）の献血者数

平成25年度 116,209人 → 令和4年度 76,331人

10年で約34.3%減少



## 令和5年度供給計画・献血目標

千葉県のと令和5年度の供給計画数は、近年の県内医療機関の輸血用血液製剤の需要動向、輸血用血液製剤の供給予測数及び血漿分画製剤の製造に必要な原料血漿の当血液センター確保割当量を基本として策定しました。

献血目標数は医療機関からの需要の高い400mL献血、高単位血小板成分献血(分割血小板)及び分画製剤製造用血漿成分献血に重点を置いており、供給計画数 844,000 単位、献血目標数 226,582 人と決定しました。

令和5年度供給計画				令和5年度献血目標					
区分	令和5年度計画数	令和4年度計画数	増減	増減比(%)	区分	令和5年度目標数	令和4年度目標数	増減	増減比(%)
全血製剤	0	0	0	—	400mL献血	153,050	150,913	2,137	101.4%
赤血球製剤	333,000	326,000	7,000	102.1%	200mL献血	4,004	3,947	▲57	101.4%
血漿製剤	127,000	122,000	5,000	104.1%	血漿成分献血	43,312	52,611	▲9,299	82.3%
血小板製剤	384,000	376,000	8,000	102.9%	血小板成分献血	26,216	24,543	1,673	106.8%
合計	844,000	824,000	20,000	102.4%	合計	226,582	232,014	▲5,432	97.7%

令和5年度供給計画数は、医療機関需要動向から概ね令和4年度計画値と同程度となりました。

昨年度に引き続き血小板成分献血及び400mL献血の目標数は増加しています。血漿成分献血の目標数については広域需給管理の観点から見直しを図ったため、千葉県内の目標数は減少しています。

## 献血の輪が広がりますように

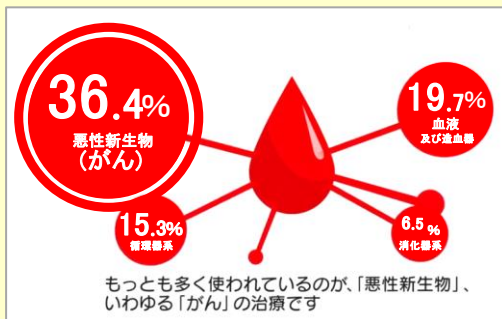
輸血用血液製剤の多くは「がん」や「白血病」等の病気の患者さんの治療に使用されております。患者さんが安心して輸血医療を受けられるよう、より多くの皆さまのご協力をお願いいたします。

### Q. いつも献血のお願いをしているのは、なぜ？

A. 病気の治療では、1度で数人分の血液を使用したり、定期的な輸血が行われることから、1人の患者さんを何人も献血者で支えています。一方、安全面を考慮し1人の方から短期間に何度も献血にご協力いただくことはできません。また、輸血用血液には有効期間(※)があり、長期保存が出来ないことから、継続的なご協力をお願いしています。

※ 輸血用血液製剤有効期間

【赤血球製剤】 採血後28日間 【血小板製剤】 採血後4日間



出典：東京都福祉保健局（令和元年）調べ

## 輸血治療を経験された方から寄せられたメッセージをご紹介します

### ありがとうございます(LOVE in Letter) ①

白血病の抗癌剤治療と骨髄移植後に輸血を受けました。全部で十数回だと思います。輸血を受けるたびに、提供して下さった方々に感謝の思いでいっぱいでした。輸血後、血球が上昇し、危機を乗り越えられ、“ほっ”と安心できました。私は若い頃しか献血しておらず、もっと人様のためになる献血をしてあげれば良かったと反省しました。献血して下さった皆様、本当にありがとうございます。私のように、命を助けていただいた人がたくさんいます！

### ありがとうございます(LOVE in Letter) ②

娘が2歳2ヶ月の時に白血病になりました。約一年におよぶ入院生活の中で何度も輸血をして頂きました。輸血をして頂くとだんだんと顔色が良くなりお友達とも元気に遊ぶことができました。お顔の見えない献血をして頂いた方々に心の底から感謝しております。今、娘が元気に過ごしていられるのは皆様のおかげです。ありがとうございました。

## 献血ルームのご案内

柏献血ルーム (柏駅東口本ビル5階)	松戸献血ルーム Pure (松戸駅西口松戸ビル1階)	献血ルームフェイス (船橋駅南口Faceビル7階)	津田沼献血ルーム (津田沼ビート6階)	モノレールちば駅献血ルーム (モノレール千葉駅構内)	運転免許センター献血ルーム (千葉運転免許センター内)
☎04-7167-8050	☎047-703-1006	☎047-460-0521	☎047-493-0322	☎043-224-0332	☎043-276-3641

献血ルーム 受付時間  
【成分献血】10:00~12:00/14:00~17:00  
【400・200mL】10:00~13:00/14:00~17:30  
【定休日】年末年始

運転免許センター 献血ルーム 受付時間  
【400・200mL】9:00~13:00/14:00~16:30 ※日曜日~16:10  
【定休日】毎週土曜日、祝日、年末年始  
※運転免許センター献血ルーム(千葉市)では、成分献血の受入は行っていません。